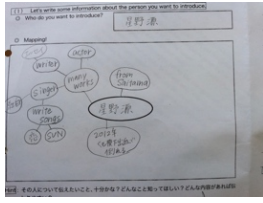



学年	3年	教科	英語	単元名	Striving for a Better World
学校名	東根市立神町中学校			実践者	教諭 門脇 明人
本時の学習活動	“Final Project!” 海外で紹介したい日本人名鑑の導入部分を作成しよう！				
ICT 活用のねらい	<b>【1 教員による活用】</b> <input checked="" type="checkbox"/> 1-1 興味関心を高める <input checked="" type="checkbox"/> 1-2 課題を明確につかませる <input checked="" type="checkbox"/> 1-3 思考や理解を深める <input checked="" type="checkbox"/> 1-4 知識の定着を図る		<b>【2 児童生徒による活用】</b> <input type="checkbox"/> 2-1 情報を収集・選択する <input type="checkbox"/> 2-2 文や図表にまとめる <input checked="" type="checkbox"/> 2-3 発表したり表現したりする <input checked="" type="checkbox"/> 2-4 知識や技能の習熟を図る		
活用する機器・ソフト・コンテンツ等	使用機器		ソフト・アプリ	コンテンツ	
	<input checked="" type="checkbox"/> タブレット (ios) <input checked="" type="checkbox"/> ノートPC・デスクトップPC <input checked="" type="checkbox"/> デジタルテレビ <input type="checkbox"/> 書画カメラ (実物投影機) <input type="checkbox"/> 電子黒板 その他 ( )		PCソフト名 ・パワーポイント  アプリ名 ・カメラ	コンテンツ名 ・	
学習形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習		<input type="checkbox"/> グループ学習	<input checked="" type="checkbox"/> 個別学習	
活用の場面・方法 活用のポイント	<input checked="" type="checkbox"/> 導入の場面		<input type="checkbox"/> 展開の場面	<input checked="" type="checkbox"/> まとめの場面	
	<p>&lt;どのように使ったか&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンをデジタルテレビに接続し、モニターとして利用する。</li> <li>・タブレットを書画カメラとして活用する。</li> <li>・発表する生徒は、モニターを見ながら英文を発表する。</li> <li>・周りの生徒は、モニターを見ながら仲間の良い点を発表する。さらに、自分の作品と照らし合わせながら、推敲する。</li> </ul>				
児童生徒の 学びの活用の様子 (写真等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のゴールを把握した上で、本時のゴールを考え、そのゴールを達成するための手段をパワーポイントを使いながら説明した。視覚的な補助があることで、生徒たちはより課題を把握しやすくなったと考えられる。</li> <li>・新出文法事項の練習の際には、モニターを全員が見ながら、集中してパターンプラクティスに取り組んでいた。</li> <li>・文法事項も、より簡単な説明がスライドに入れてあったので、教師側の説明する時間が短くなり、増えた。</li> <li>・まとめの場面では、生徒の作品をタブレットで撮影し、モニターに映してシェアした。その中で、仲間の良さや自分で気づけなかった有効な表現に気づき、自らの作品に生かしている様子が見られた。</li> </ul>		 <p>生徒の活動時間が</p>		
実践を通して 感じたこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントには、英語の授業において多くの可能性を持ったツールであると感じている。特に視覚補助の面（ポイントをわかりやすく整理する、整理、写真や絵を用いたテンポの良い練習）では、スライドがあることで教師側の余計な説明等が省かれ、生徒の活動量を増やすことができる。ただし、課題設定等の場面では、準備されたスライドでは、その場で生まれた生徒の気づきや疑問等に対応することが難しいので、パワーポイントに頼り過ぎてはいけない部分もある。</li> <li>・タブレットのカメラ機能については、机間指導の折に常に持ち歩き、全体で考えたいこと、共有したいことを見つけたときには、すぐに撮影しモニターに映すことで、個の学びから、全体の学び、そしてまた最終的に個の学びへとつなぐことができるツールである。</li> </ul>				